

Bグループ

- 虫のつかめない子が自分からかって出てポリ袋を持っている。
- どこへ行くの。
- あっちの草の所、虫がたくさん居るよ。
- こわごわみんなの後について行き、捕った虫を袋に入れてもらっている。
- コオロギが袋から逃げそうだ。
- 虫に手をふれてはすぐ放してしまう。
- コオロギはかみつかないよ。ほら。
- 友だちにせかさされ、すばやくつかんで袋に入れる。みんなで拍手を送る。

虫を追いかけて、捕えることに夢中で虫の動きや居場所、食べている様子などまではまだ十分目が向かない。



写真4 しぶしぶ虫とりについて行くB子



写真5 「こうしてつかむといいよ」と教えるM子

虫とりをしてわかったことや気付いたことを教えてあげよう。

- 集合して発表させる。(発表の様子、略)
- 帰ったら虫の住む家を作ってあげようとはたらきかけ、帰校する。

居場所、環境の発言 9人  
動き、体の特徴の発言 5人  
えさについての発言 3人  
心情的な発言 4人

<本時のねらい> 3/6、4/6

虫の住んでいる場所やえさを考え、すみかや飼育方法を工夫して世話する楽しさを味わわせる。

虫の好きなすみかを作ろう。

- 給食室からダンボール箱をもらい、理科室から飼育箱や水そうを借りてきてすみかを作り始める。
- 草を入れないと死んでしまうよ。
- 土や石も入れないとだめだよ。
- かれ木も入れて置くといいよ。
- スズムシを飼った経験を想起している。校庭のあちこちを探し回り、草や土、石、鉢のかけら、木の根や枝などを集めてくる。他のグループのすみかの様子が気になりだす。

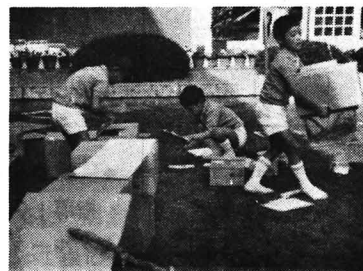


写真6 ダンボールですみかを作る4班

箱の中に土を入れ、草、石鉢のかけらなどを無造作に置いている。